

柿	柿喰つてますます黒き鴉かな	1995. 1. 1	柿	たわわなる民家の柿や秋の駅	2017. 6.20
	柿食へば鴉の声の赤々と	2015. 9.30		たわわなる民家の柿や駅の裏	
	柿食つて赤くもならず鴉鳴く			駅裏の民家の柿のたわわなる	
	柿食つて赤くもならず鴉かな	2015.10. 9		ホームから見える民家の柿たわわ	
	柿ばかり食つて鴉の黒きかな			駅のすぐ隣の民家柿たわわ	
	柿食つて黒きままなる鴉かな			駅裏の民家の庭の柿たわわ	
	柿食つて赤くもなれぬ鴉かな	2015.10.10		駅裏は民家の庭や柿たわわ	
	柿食つて赤く鳴くなる鴉かな	2015.10.10		駅裏の民家の庭に柿たわわ	
	柿食つてあくまで黒き鴉かな	2020. 9. 3		駅裏は農家の庭や柿たわわ	2017. 6.21
	柿食つて鴉のいよよ黒きかな			駅裏は農家の庭で柿たわわ	
	柿食つて鴉の声の赤きかな			ホームから見えて民家の柿たわわ	2017. 9. 6
	柿食つて赤き声出す鴉かな			駅前の民家の庭に柿たわわ	
	柿食つて鴉の羽のまつ黒な			駅裏の農家の庭の柿たわわ	2017. 9.15
	<u>柿食つて鴉の羽根のまつ黒な</u>	2020. 9. 4		住宅の柿のたわわや駅の裏	2020. 9. 4
	寺の柿も役場の柿も古りにけり	2012.10.29		<u>駅よりも農家が立派柿たわわ</u>	
	寺の柿残り役場の柿失せぬ	2020. 9. 3		佛壇に柿を供へて菊を生け	2018.11. 1
	<u>寺の柿も役場の柿も鈴生りに</u>	2020. 9. 4		<u>仏壇に柿を供へて菊を生け</u>	2020. 9. 3
	入りし刃にしくと切られし柿の種	2014. 3.12		柿の木にしばし食後の稲雀	2018.11. 1
	<u>入りし刃にシクと切られし柿の種</u>	2020. 9. 3		柿の木に来るは食後の稲雀	
	庭の柿そのまま月に供へけり	2015. 9.27		柿の木に来しは食後の稲雀	
	<u>柿の木のたわわを月に供へけり</u>			稲を食ひ柿に休める雀かな	2020. 9. 3
	庭の柿そつくり月に供へけり	2017.10.30		稲を食ひ柿に休める雀どち	
	柿の木の切株に柿置かれある	2015. 9.30		稲を食ひ柿に休める雀共	
	切株も置かれし柿も新しき	2020. 9. 5		稲を食ひ柿に休める雀たち	
	切りたての切株に柿置かれある			稲を食ひ柿に休める雀ども	
	切りたての切株に置く柿の数			稲を食ひ柿に休める雀らよ	
	切りたての切株柿の籠置かれ			稲を食ひ柿に寛ぐ雀らよ	
	切りたての切株の上の柿の籠			食ひ飽きて柿に寛ぐ稲雀	
	切りたての切株の上の柿の籠			<u>食べ飽きて柿に寛ぐ稲雀</u>	2020. 9. 4
	切りたての切株に積む柿の数			柿の秋日本に山河ある限り	2019. 8.22
	<u>切りたての切株に積む柿の山</u>			柿食うて日本の村の滅びつつ	
	桃は啜り林檎は嚙り柿は食ふ	2015.10. 1		<u>柿たわわ日本の村の滅びつつ</u>	
	<u>桃は啜り林檎は嚙り柿はさて</u>	2020. 9. 4		日本に神や佛や柿の秋	2019. 8.22
				日本の神よ佛よ柿の秋	
				日本の神に佛に柿の秋	
				<u>日本の神に佛に柿たわわ</u>	2019. 8.25
				神の名の多き日本に柿の名も	2019.10.22
				<u>日本に神の名多し柿の名も</u>	
				日本に神の名あまた柿の名も	2019.10.23
				日本に神の名おほし柿の名も	2020. 9. 4

柿	<u>日は空を焼いて真つ赤や柿の秋</u>	2019. 8.22
	日は雲を焼いて真つ赤や柿の秋	
	柿の蒂なんの役にも立たざれど	2019. 8.24
	柿の蒂なんの役にも立たざりき	
	柿の蒂役にも立たず割れやすき	2020. 9. 3
	柿の蒂役にも立たず欠けやすき	
	柿の蒂四方に開きて欠けやすき	
	柿の蒂四方に開いて欠けやすき	2020. 9. 5
	柿の蒂四方に広がり欠けやすき	
	柿の蒂花びらよりも欠けやすき	
	<u>柿の蒂はなびらよりも欠けやすき</u>	
	婚の荷の柿が残りぬ祖母の庭	2019.10.30
	婚の荷の柿の木残る祖母の庭	2020. 4.22
	<u>婚の荷でありし柿の木祖母の庭</u>	
	婚の荷の柿の木実る祖母の庭	2020. 9. 3
	婚の荷の柿の木みのる祖母の庭	